



# 2014年3月期 決算説明会

2014年5月12日  
日本写真印刷株式会社  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也

**NISSHA**

0

Nissha Confidential Proprietary



## 本日のポイント(実績)

### 2014年3月期の実績

- ディバイス事業が業績を牽引し、営業黒字に転換、利益計画を上回る
- ディバイス：売上高は計画を若干下回るも、  
生産歩留りの改善で利益は計画を上回る
  - フトリソ工法は姫路・加賀2工場での量産体制を確立
  - 当初フォーキャストに対して需要が変動するも、コストコントロールで対処
- 産業資材：売上高は通期で計画を上回るも、Q4の需要が減速
  - 自動車は堅調に推移(特に北米向け)
  - ノートパソコン向けの需要が低迷、価格競争は激化
- 復配：期末配当金5円(1株当たり)を予定

**NISSHA**

1

Nissha Confidential Proprietary



## 本日のポイント(見通し)

### 2015年3月期の見通し

- 引き続きデバイス事業が業績を牽引、営業利益は通期50億円を計画
- デバイス
  - 姫路・加賀の2工場体制が年間を通じて業績に寄与
  - フォトリソ工法の市場浸透(派生技術の展開)
  - 印刷工法はスマートフォン向け、携帯ゲーム機向けともに減少の見通し
- 産業資材
  - 自動車・家電・化粧品市場を拡大し、市場ポートフォリオを再構築
  - 対象市場、対象地域に適応したバリューチェーンを構築
- 印刷技術の新領域を切り拓く
  - 第4・第5の事業に足掛かりをつける(M&Aを強化)
  - 新たなコア技術を獲得し、既存技術と融合
    - ガスセンサー事業の立ち上げ(2014年Q2)

2

Nissha Confidential Proprietary



## 2014/3期 黒字化、成長基調に回帰

2014年3月期経営成績

(百万円)

	2013/3期 実績	2014/3期 計画 (11/6修正公表)	2014/3期 実績	前期比	計画比
売上高	89,427	113,000	110,922	+24.0%	▲1.8%
営業利益	▲6,783	1,000	1,935	-	+93.5%
営業利益率	▲7.6%	0.9%	1.7%	+9.3pt	+0.8pt
経常利益	▲4,643	2,500	5,182	-	+107.3%
当期純利益	▲5,438	1,800	3,967	-	+120.4%
事業別 売上高					
産業資材	27,689	26,000	26,409	▲4.6%	+1.6%
デバイス	43,133	68,000	66,315	+53.7%	▲2.5%
情報コミュニケーション その他	18,604	19,000	18,196	▲2.2%	▲4.2%
事業別 営業利益					
産業資材	▲719	-	▲1,122	-	-
デバイス	▲469	-	7,440	-	-
情報コミュニケーション その他	337	-	▲737	-	-
調整額	▲5,933	-	▲3,644	-	-

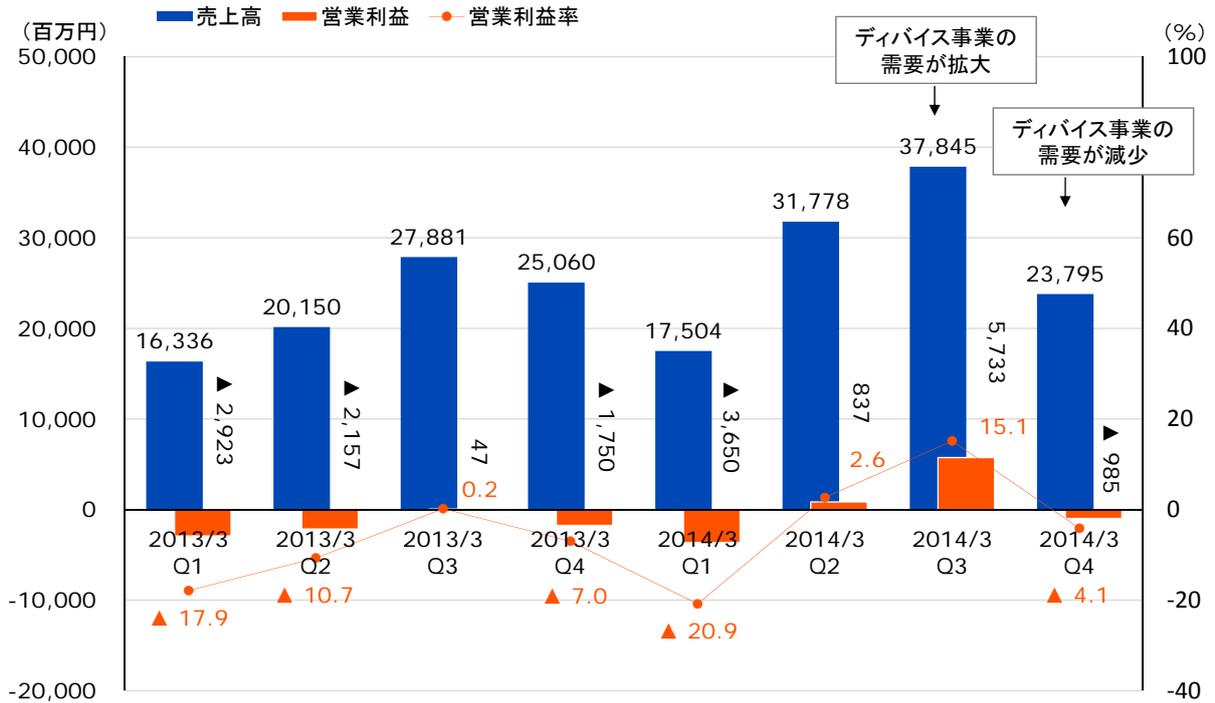
※2014/3期より、従来の全社費用の一部を新基準で事業に配賦しています。

3

Nissha Confidential Proprietary

# 四半期の業績推移(実績)

## Q3がフトリソ工法の最大需要期、Q4は落ち込み



NISSEHA

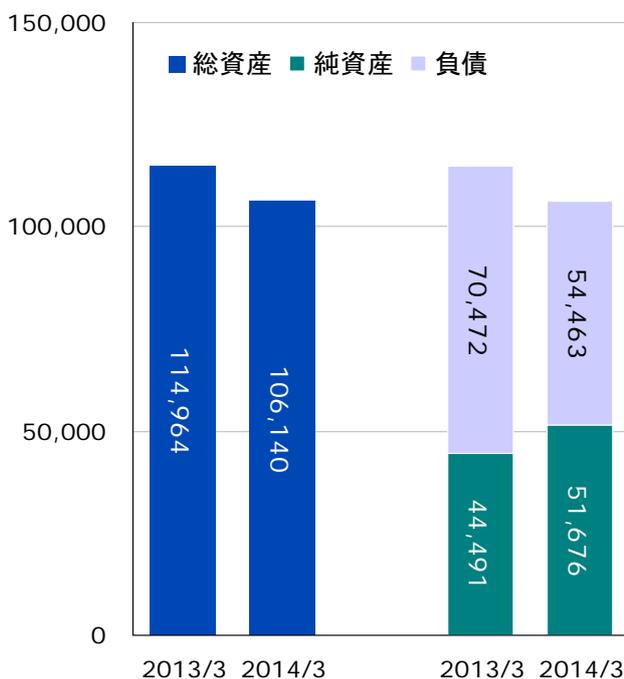
4

Nissha Confidential Proprietary

# 貸借対照表：財務体質が改善

総資産、負債、純資産の前期末比増減

(百万円)



### ●資産の主な増減

- 売上債権の減少 ▲5,743
- 現預金の減少 ▲3,702
- 投資有価証券の増加 +2,386

### ●負債の主な増減

- 短期借入金の返済 ▲4,000
- 設備未払金の減少 ▲3,577
- 仕入債務の減少 ▲3,886

### ●純資産の主な増減

- 当期純利益の計上による利益剰余金の増加 +3,967
- 為替換算調整勘定の増加 +2,310
- その他有価証券評価差額金の増加 +896

NISSEHA

5

Nissha Confidential Proprietary

# キャッシュ・フロー：投資活動で生産体制を完備

キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

	2013/3期 実績	2014/3期 実績	2014/3期実績の概要	
営業活動による キャッシュ・フロー	13,864	14,413	●税金等調整前当期純利益	+5,151
			●減価償却費	+11,219
			●運転資金の改善など	+4,114
投資活動による キャッシュ・フロー	▲7,206	▲16,149	●有形固定資産の取得により	▲15,908
(フリーキャッシュ・フロー)	6,658	▲1,736		
財務活動による キャッシュ・フロー	▲4,677	▲4,634	●短期借入金の返済	▲4,000
現金及び現金同等物の 期末残高	23,692	20,272		

NISSEHA

6

Nissha Confidential Proprietary

## リーンな企業体質へ

### ●効率性の改善

	2012/3期	2013/3期	2014/3期
売上原価率	99.5%	93.4%	84.7%
投下資産回転率	1.3回	1.6回	2.1回
※投下資産=有形固定資産+無形 固定資産+運転資金			

### ●財務体質の改善

	2012/3期	2013/3期	2014/3期
自己資本比率の改善	46.5%	38.7%	48.7%
有利子負債の削減	短期借入金残高 25,094 百万円	短期借入金残高 21,099 百万円	短期借入金残高 17,095 百万円

NISSEHA

7

Nissha Confidential Proprietary



# 2015/3期見通し 引き続きデバイスが業績を牽引

2015年3月期業績計画

(百万円)

	2014/3期 実績	2015/3期		2015/3期 計画 (¥100/\$前提)	前期比
		H1計画	H2計画		
売上高	110,922	56,000	64,000	120,000	+8.2%
営業利益	1,935	700	4,300	5,000	+158.4%
営業利益率	1.7%	1.3%	6.7%	4.2%	+2.5pt
経常利益	5,182	500	4,500	5,000	▲3.5%
当期(四半期)純利益	3,967	450	4,050	4,500	+13.4%

事業別売上高	2014/3期 実績	2015/3期 計画		前期比
産業資材	26,409		27,000	+2.2%
デバイス	66,315		73,000	+10.1%
情報コミュニケーション			19,000	
その他(新規事業など)	18,196		1,000	+9.9%

※2014/3期以前は情報コミュニケーションに「その他」を含めていましたが、2015/3期より「その他」を別のセグメントとしました。

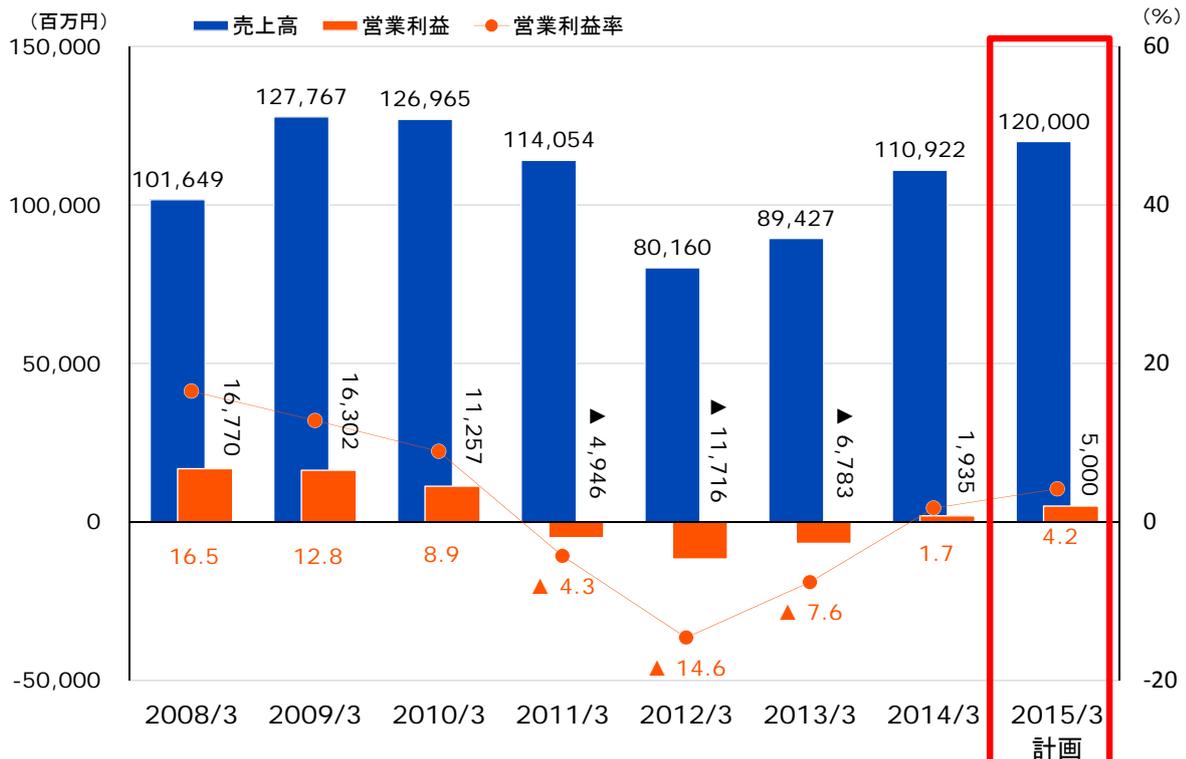
NISSHA

8

Nissha Confidential Proprietary



## 業績の見通し



NISSHA

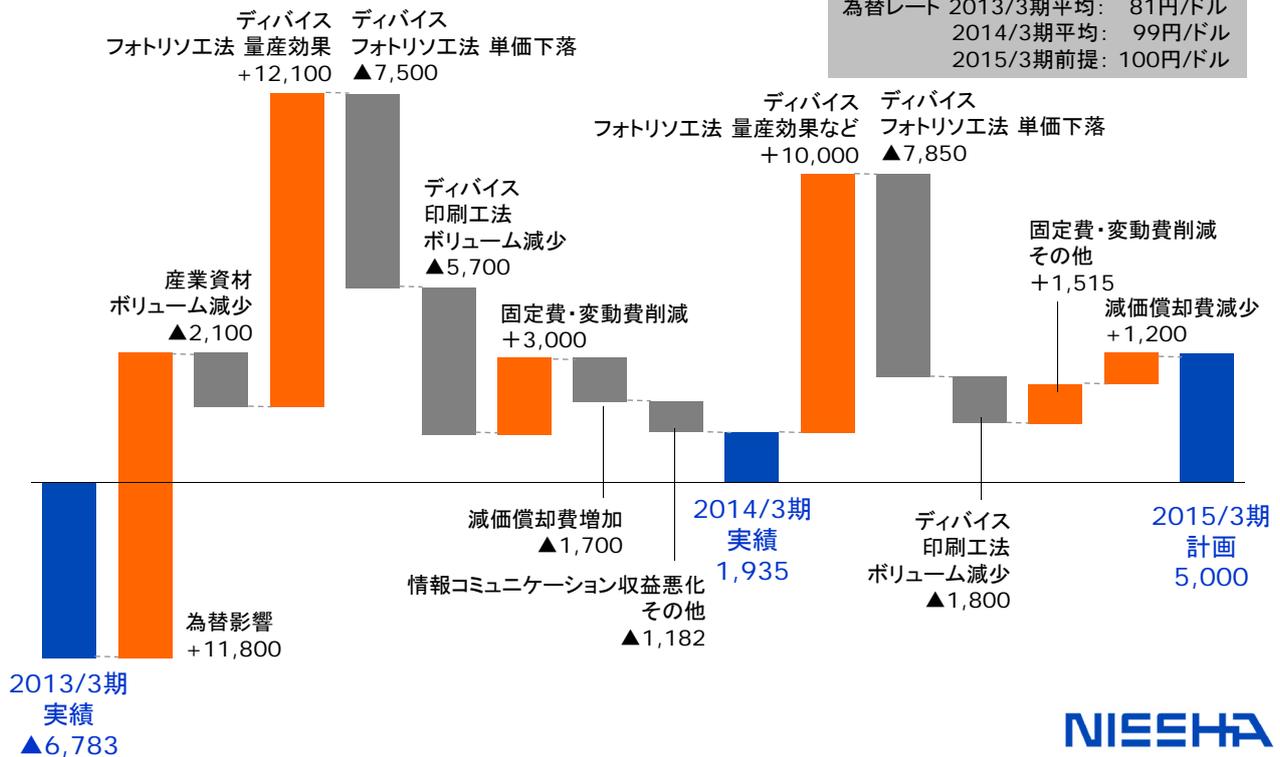
9

Nissha Confidential Proprietary

# 営業利益の増減分析

2013年3月期 ⇒ 2014年3月期 ⇒ 2015年3月期(計画)

(百万円)

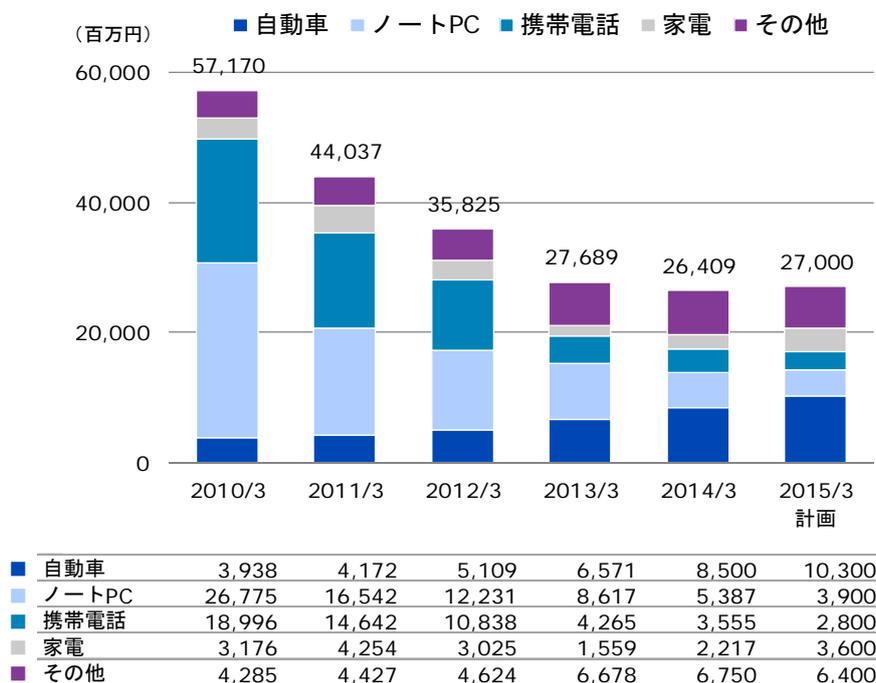


10

Nissha Confidential Proprietary

# 産業資材 自動車・家電を軸に展開

産業資材 用途別売上高の推移



2015/3期見通し

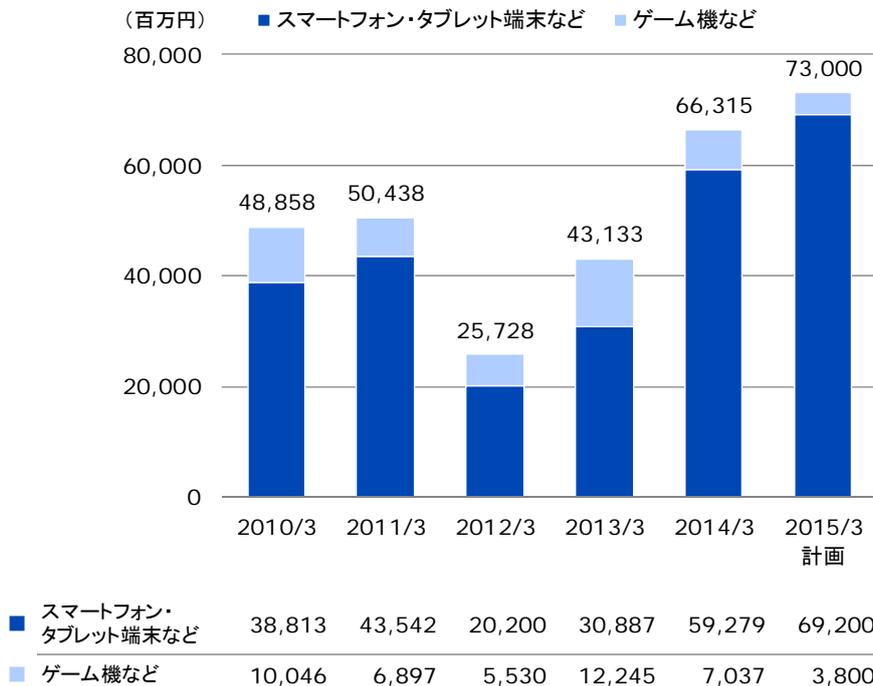
- 自動車・家電が拡大
- ノートPC、携帯電話は市場縮小傾向続く
- ASEAN市場での販売強化
- アメリカの印刷工場が本格稼働(Si-Cal)

11

Nissha Confidential Proprietary

# デバイス 引き続きタブレット端末向けの需要が拡大

## デバイス 用途別売上高の推移



### 2015/3期見通し

- フォトリソ工法の  
ボリューム増加
  - お客さま基盤の拡大
  - 派生技術の市場投入
- ゲーム機は減少傾向  
続く

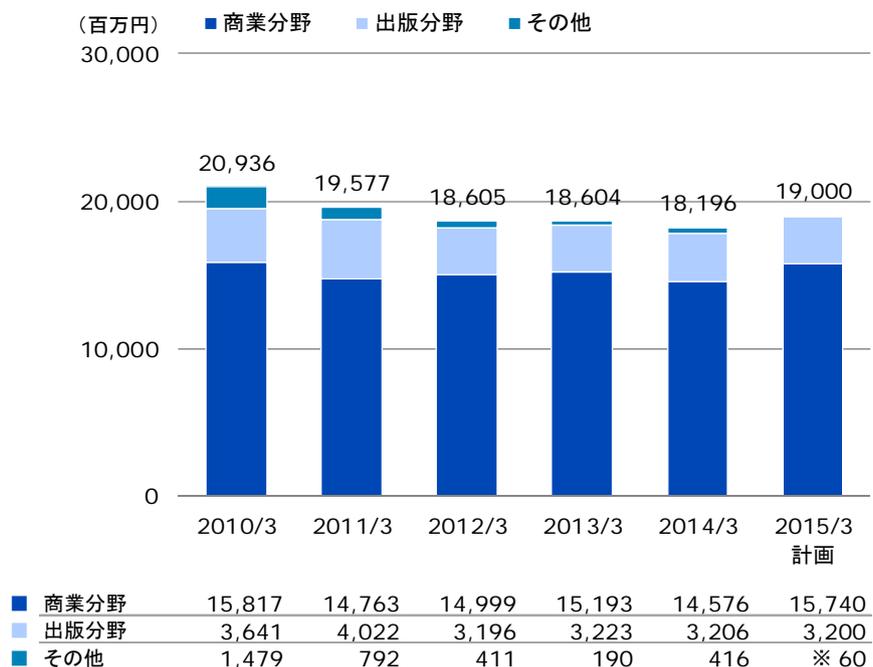
NISEHA

12

Nissha Confidential Proprietary

# 情報コミュニケーション SP分野の拡大見込む

## 情報コミュニケーションその他※ 分野別売上高の推移



### 2015/3期見通し

- 商業分野のうち、SP  
(セールス・プロモーション)に注力

NISEHA

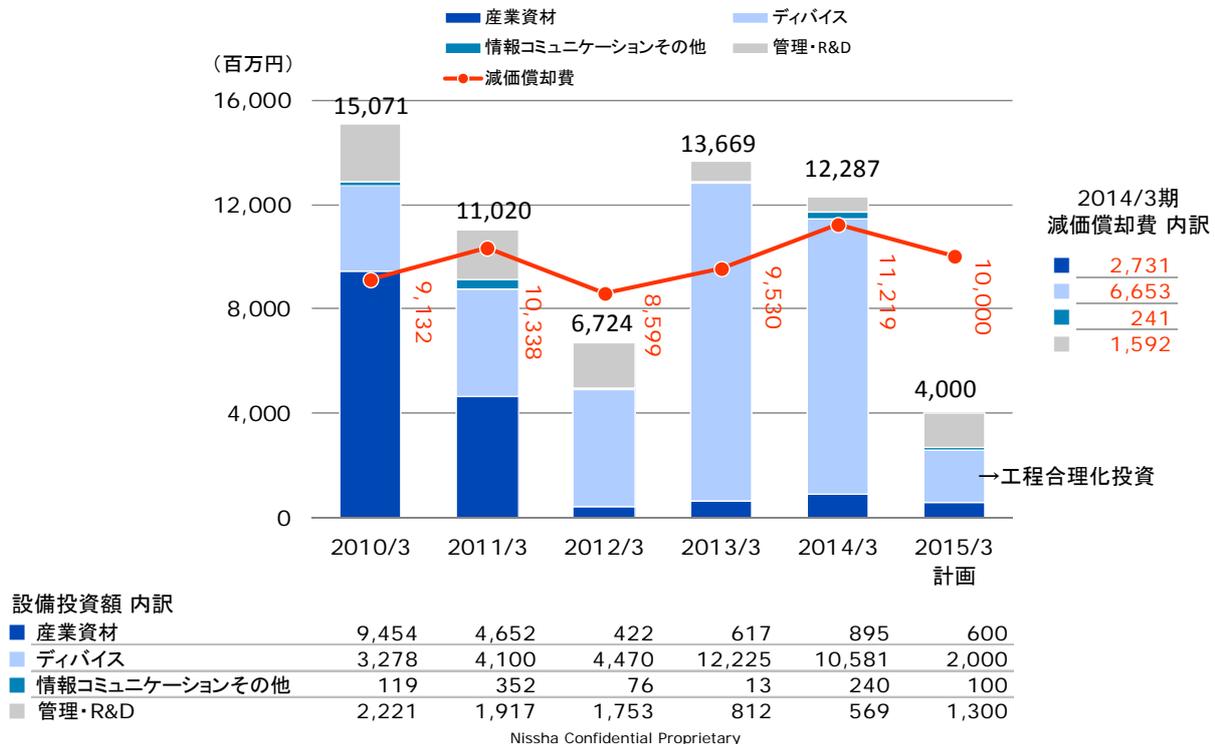
※2014/3期以前の「その他」には、不動産事業、人材派遣事業などの売上高を含んでいましたが、2015/3期計画にはこれらの売上高は含んでおりません。

13

Nissha Confidential Proprietary

# 大型投資の一巡で設備投資額は減少 減価償却費はピークアウト

事業別 設備投資額および減価償却費の推移



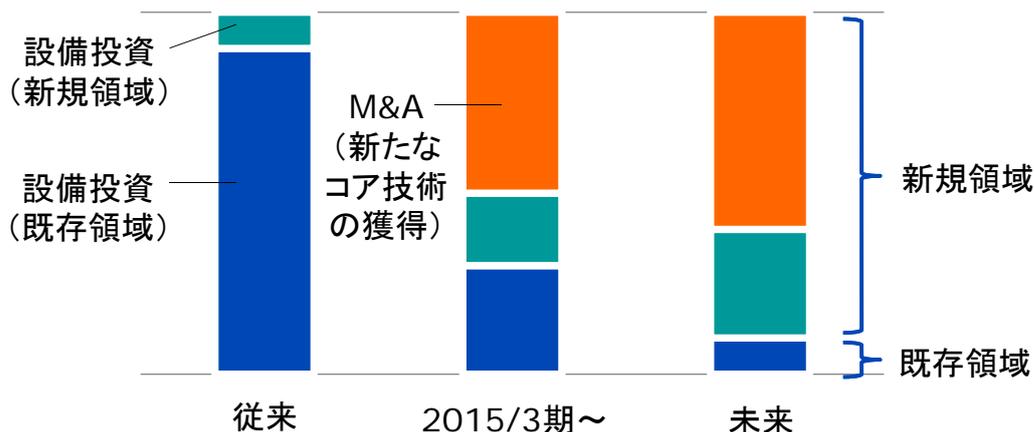
14

Nissha Confidential Proprietary

## コア技術の獲得により、成長基盤を確立

- 既存事業の設備投資は一巡
- 研究開発・M&Aに戦略的に投資
  - 研究開発: 固有技術の深掘り
  - M&A: 新たなコア技術の獲得により、事業ポートフォリオの転換をスピードアップ

成長投資の内訳イメージ(%)



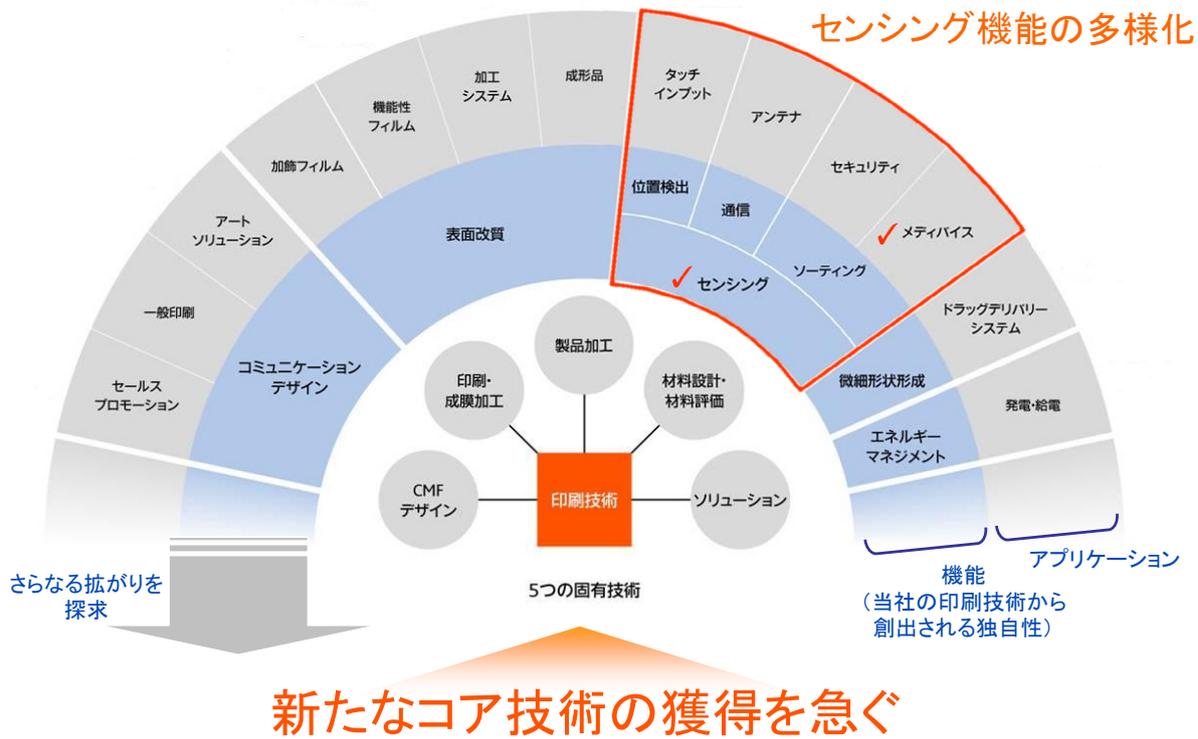
NISSHA

15

Nissha Confidential Proprietary



# 新たなコア技術の獲得を通じて、 アプリケーションの多様化を促進



# Printed Electronicsでメディカル市場を切り拓く (アメリカ Si-Cal Technologies)

- 2014年2月1日、  
Nissha USAがSi-Calを買収
- 対象市場の拡大、製品の拡大

Si-Cal Technologies, Inc. 

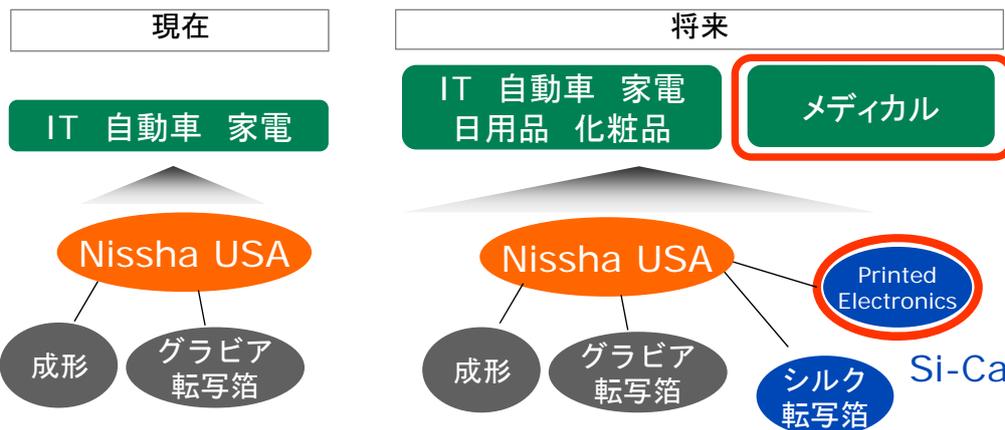
設立: 2014年2月

資本金: 30,000米ドル(Nissha USA 67%)

主な製品:

転写箔(日用品、化粧品、自動車、  
エレクトロニクス、メディカル)

機能印刷(メディカル、ヘルスケア、自動車)

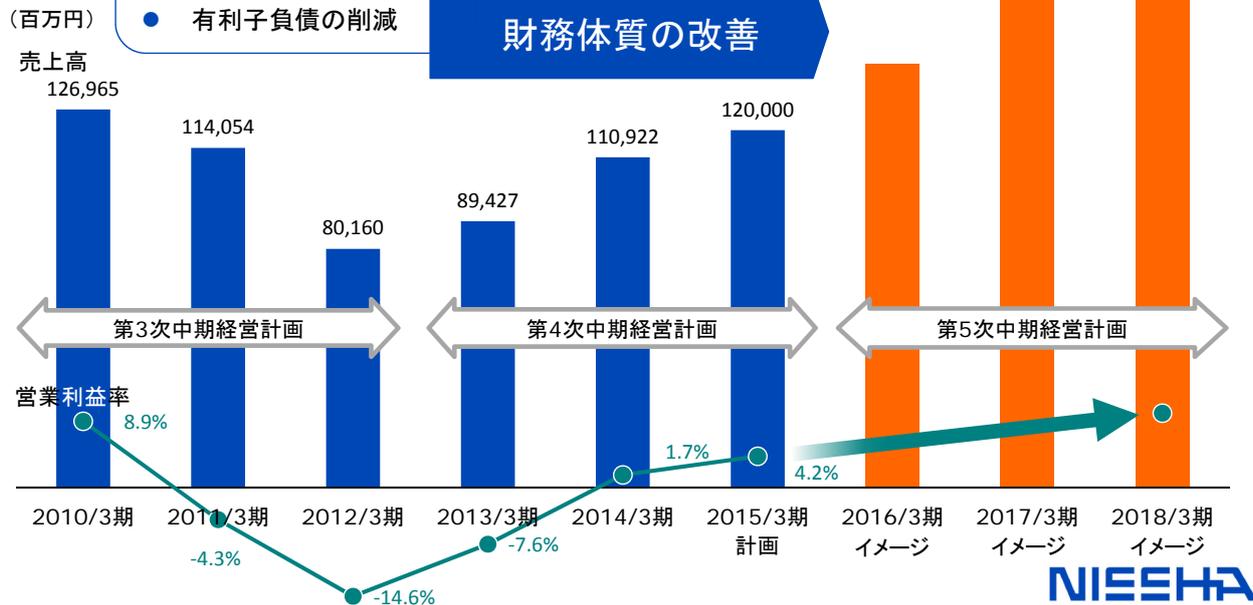


# 財務体質の改善に目途をつけ、 成長戦略を加速

新領域の確立  
成長基調

- 売上原価率の改善
- 投下資産回転率の改善
- 自己資本比率の改善
- 有利子負債の削減

- 新たなコア技術の獲得
- 自動車、メディカル分野をメインターゲットに、第4・第5の事業を確立



18

Nissha Confidential Proprietary

ご清聴ありがとうございました。

# NISSHA

お問い合わせ先:

日本写真印刷株式会社

経営企画部IRグループ

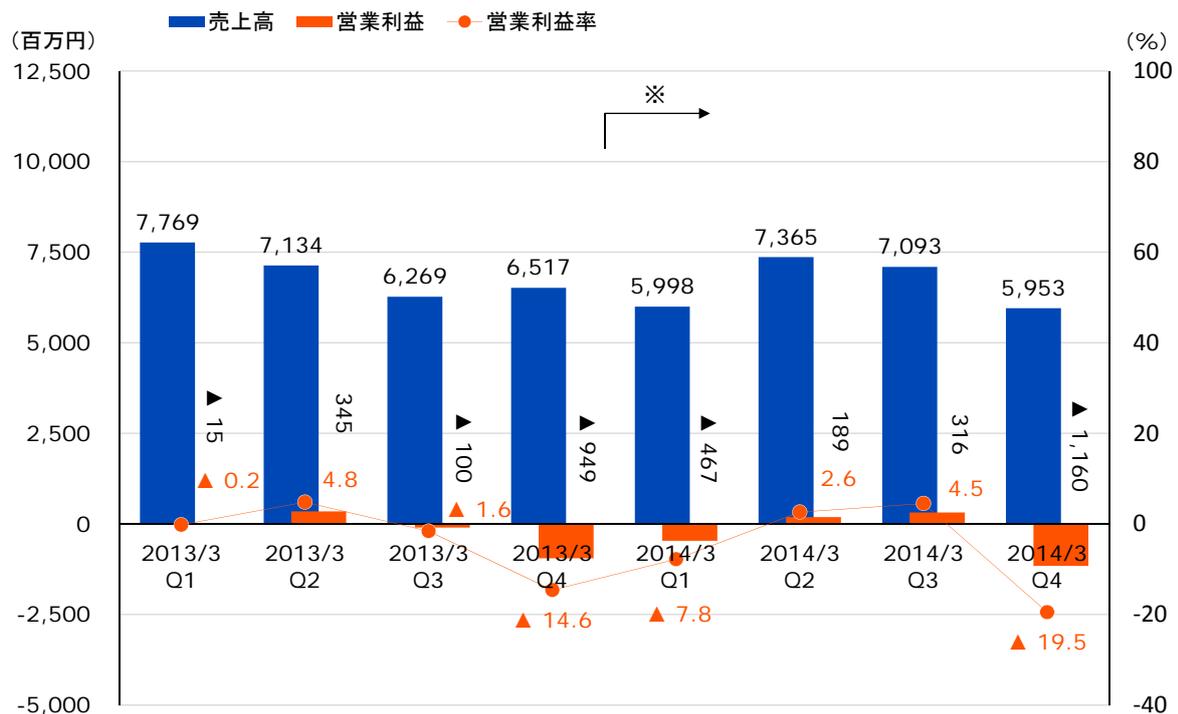
T 075 823 5144(直通)

NISSHA

19

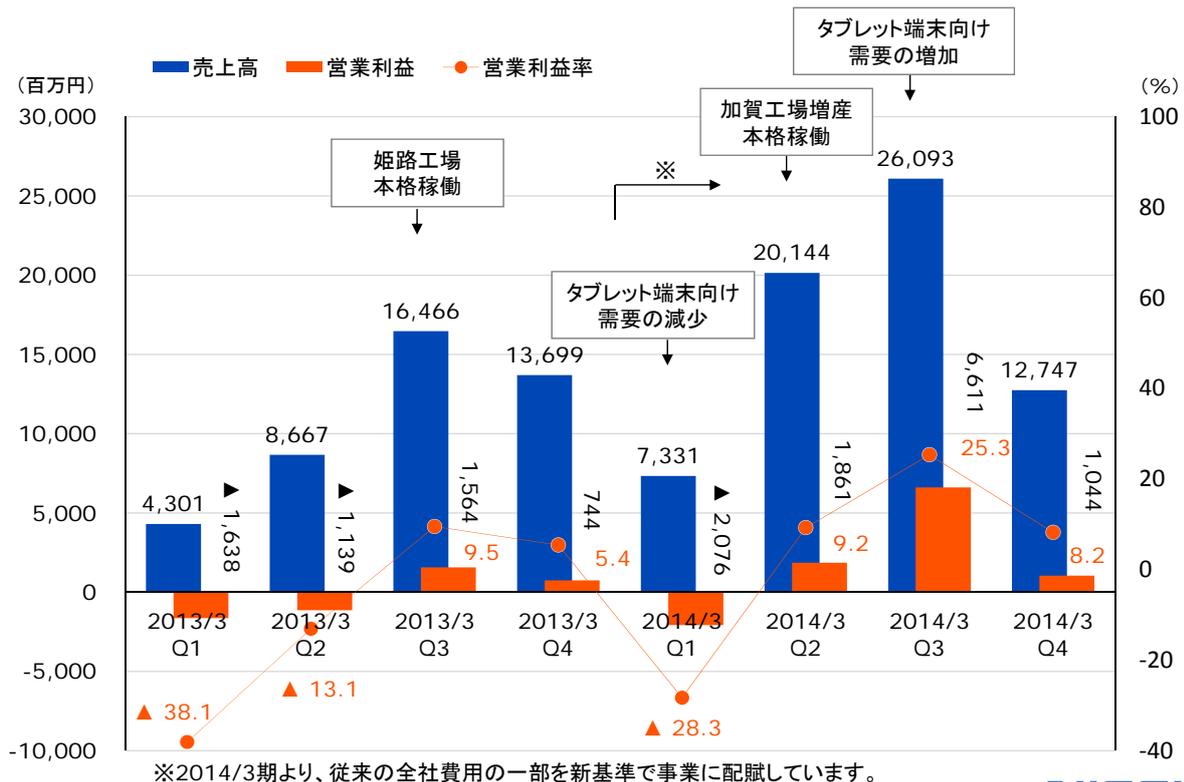
Nissha Confidential Proprietary

## 資料：産業資材 四半期の業績推移(実績)



NISSEHA

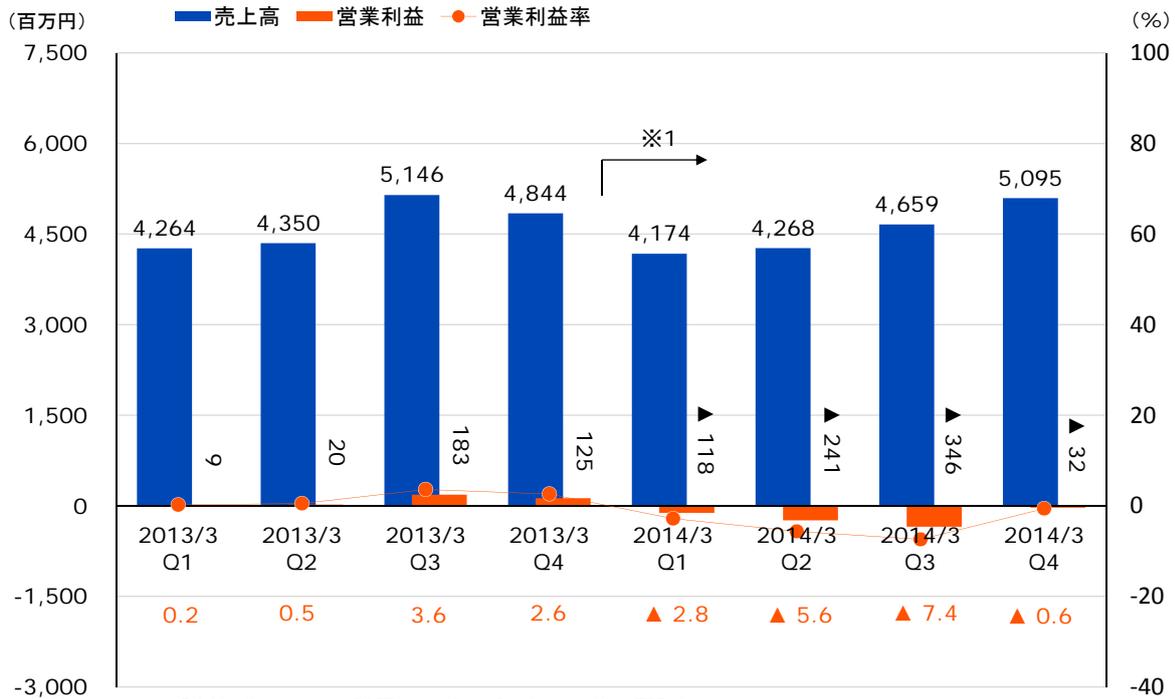
## 資料：デバイス 四半期の業績推移(実績)



NISSEHA



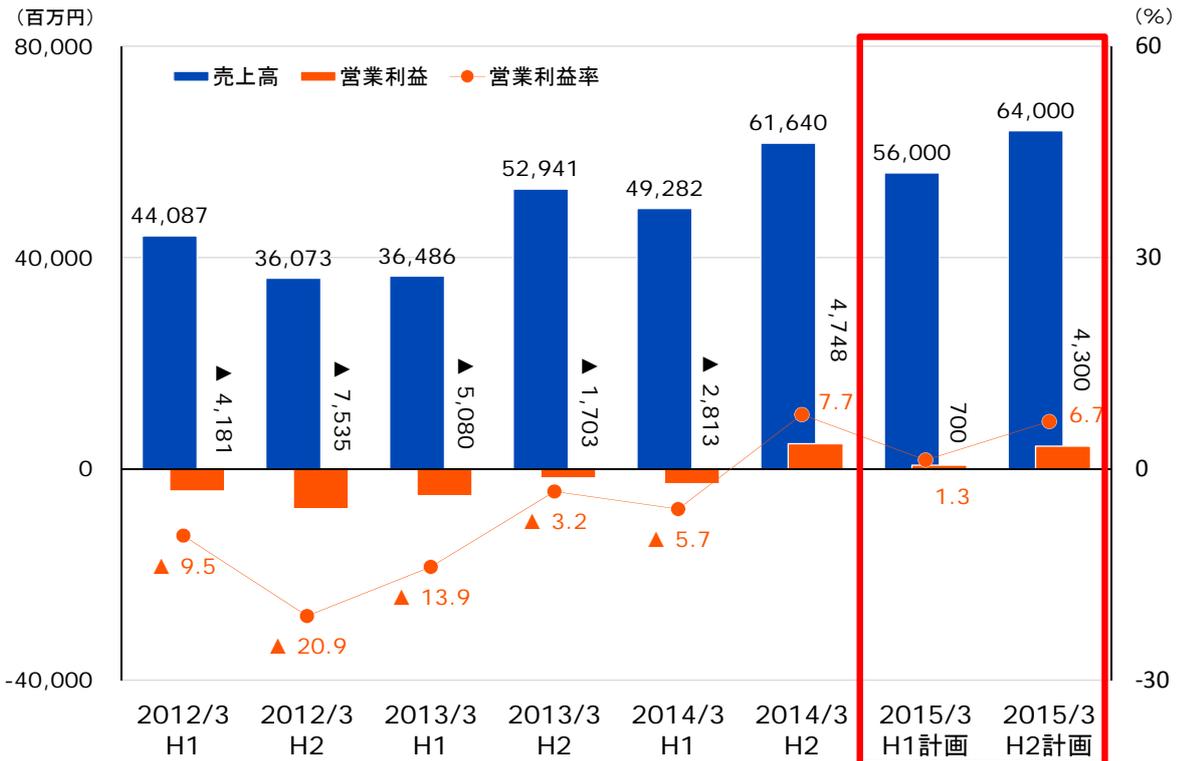
# 資料: 情報コミュニケーションその他 四半期の業績推移(実績)



※1 2014/3期より、従来の全社費用の一部を新基準で事業に配賦しています。  
 ※2 情報コミュニケーション事業に不動産事業、人材派遣事業などの売上高を含んでいます。

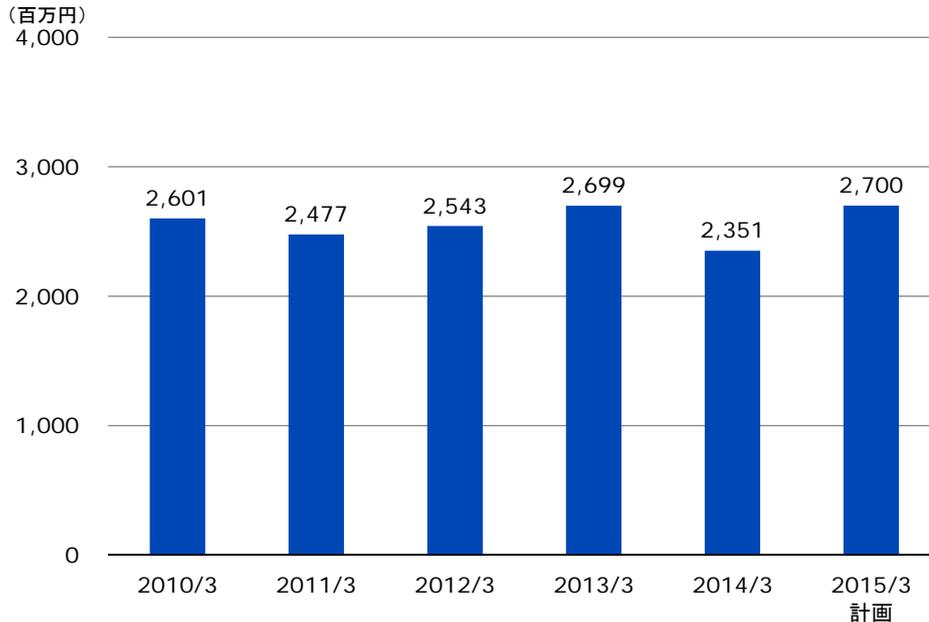


# 資料: 業績の見通し(半期)





## 資料：研究開発費の推移



NISSHA



### 免責事項

本プレゼンテーション資料には、日本写真印刷株式会社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。そのため、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などのさまざまな要因により、記述されている将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

### 注意事項

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利は作成者に帰属しているため、作成者の事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複写、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。

- 本資料の業績数値は、特に注記がない限り、すべて連結ベースとなっております。

NISSHA